

■質問

梁の三段筋に対する扱いを、教えて下さい。

■回答

梁の三段筋に対する扱いは、下記によります。

- ① 原則として三段筋は、不採用としています。
- ② 「部材リスト---大梁」で三段筋を設定した場合は、(一段筋+二段筋)の本数を一段筋とみなし、三段筋を二段筋とみなして、断面検定をします。
- ③ その際、(一段筋+二段筋)の本数を一段筋とみなすため、梁幅が不足するような場合には警告メッセージW831が出力されます。
- ④ 鉄筋の重心位置(dtU,dtD)は下記に示した計算結果を表示します。

(下図参照)

(参考図)

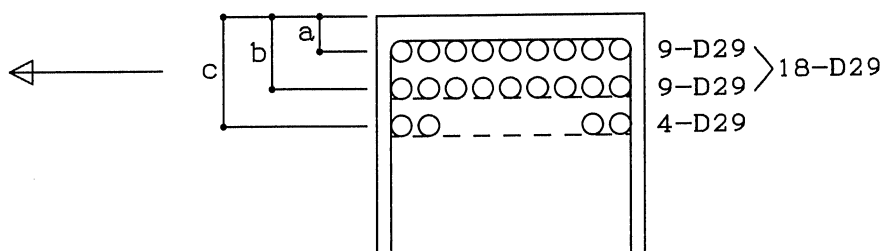
はりの断面検定表

RC造梁の設計

記号	FGn (Z1, Y1, X1-X2) Fc24 C=1 主筋:SD345 あばら筋:SD295A
位置	左端
断面bxD	800x2000
dtU dtD	*1 [177] 177
主筋 上端筋	18-D29 /4-D29
下端筋	4-D29 /18-D29
スラブ筋(mm2)	0
あばら筋	6-D13@100

[部材リスト設定配筋]

800



<警告メッセージ>

W831 ☆ 主筋本数に対する梁幅が不足しています

※ 鉄筋重心位置  $dtU, dtD = \frac{(a \times 9 + b \times 9 + c \times 4)}{(9 + 9 + 4)}$

- a、b、cは 各段筋の重心位置です
- a、b、cは [部材リスト・基礎梁] で入力設定します
- dtU \*1 [177] は a=100、b=200、c=300 の場合の数値です